

## 4 農産物の生産と流通

### (1) 米 (生産)

～県全体の作柄は「平年並」～

令和2年の水稲作付面積は、前年より200ha多い4万5,200haとなった(図1)。

品種別の作付割合は、「まっしぐら」が76.5%、「つがるロマン」が17.6%となり、2品種で全体の94.1%を占めている(図3)。

県全体の作柄は、10a当たり収量が628kg、作況指数「105」、収穫量は28万3,900tとなった。また、一等米比率は、令和2年12月末現在で93.5%となっている(図1、図2)。

図1 水稲の作付面積及び収量・収穫量の推移

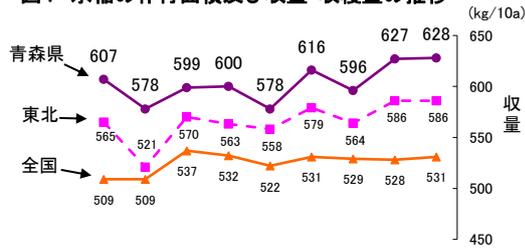
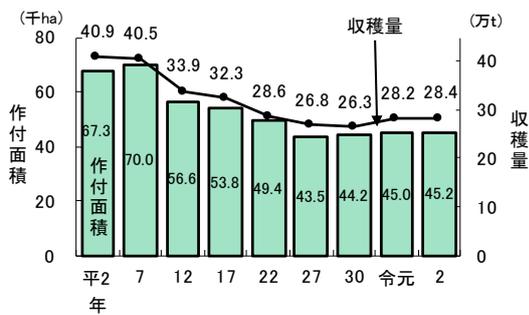
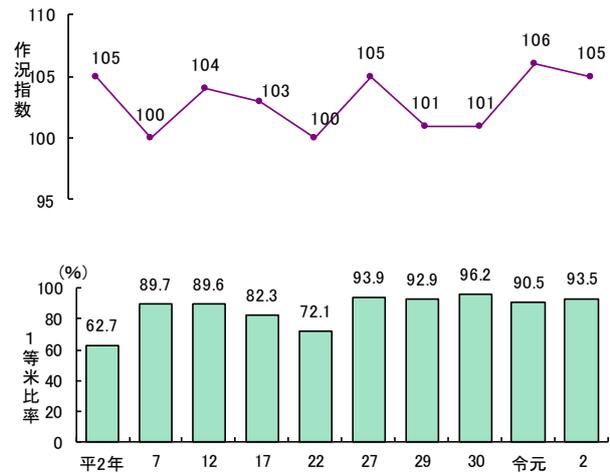


図2 水稲作況指数と1等米比率の推移

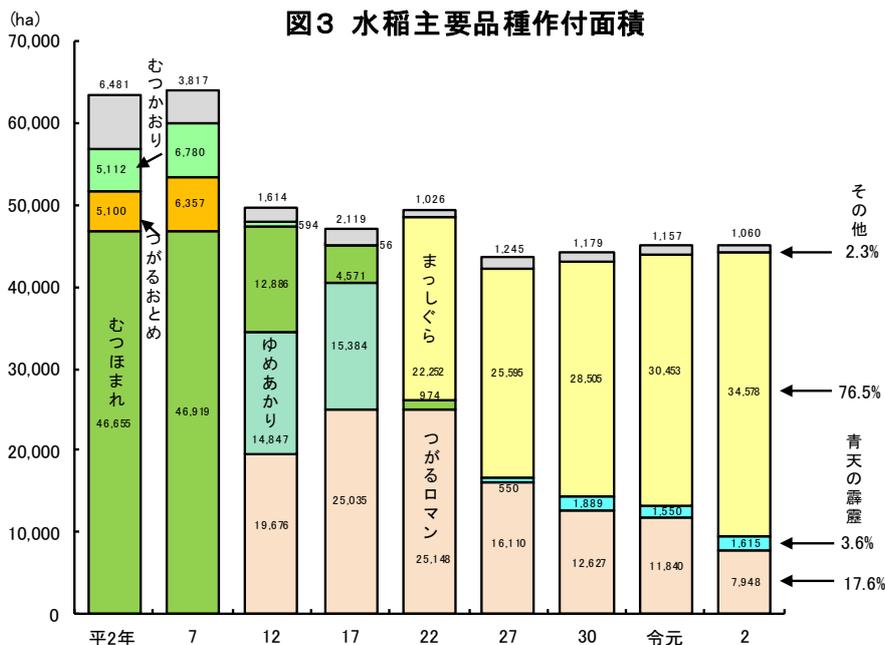


注) 令和2年産の1等米比率は速報値

資料: 農林水産省「米の検査結果」(1等米比率)、農林水産省「農林水産作物統計」(作況指数)

資料: 農林水産省「農林水産統計」

図3 水稲主要品種作付面積



資料: 県農産園芸課

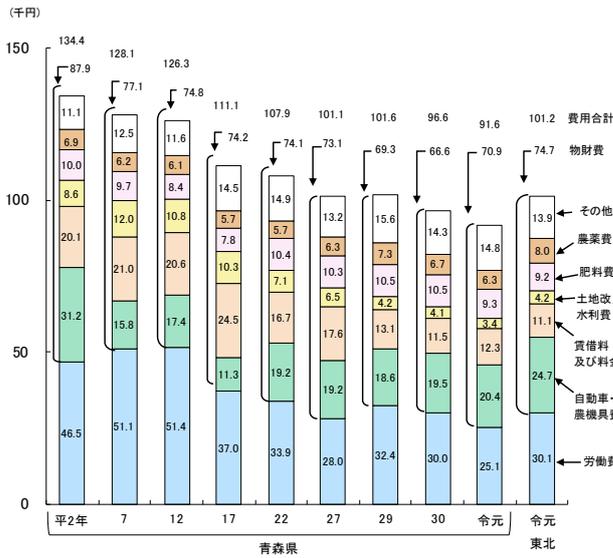
## (2) 米 (生産費)

### ～費用、労働時間は増加～

本県の令和元年産米の10a当たり費用合計は、9万1,582円で前年に比べ5,060円減少した。これは、主に労働費、肥料費が減少したことなどによる(図1)。

また、10a当たり労働時間は20.3時間で、前年に比べ3.3時間減少した。これは、主に水管理及び種子予措・育苗時間が減少したことによる(図3)。

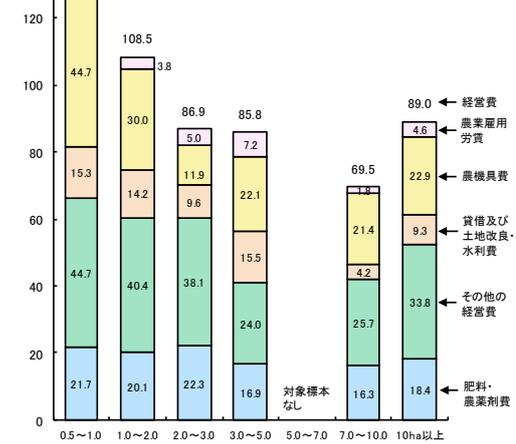
図1 10a当たり費用合計の推移



※ラウンドの関係で合計が一致しない場合がある。

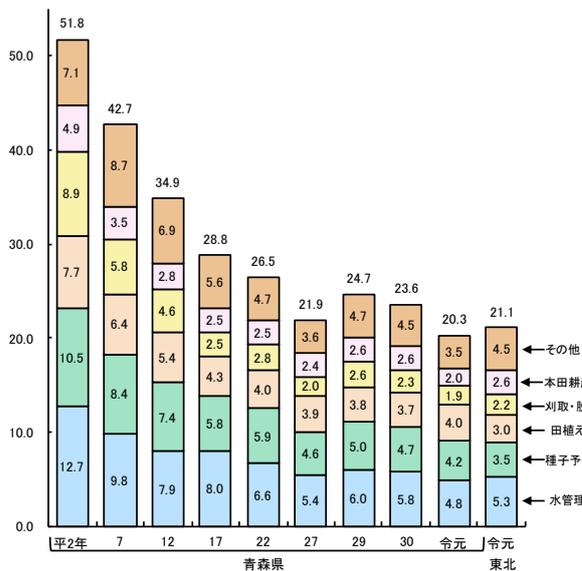
資料：農林水産省農業経営統計

図2 作付規模別の経営費 (10a当たり、28年)



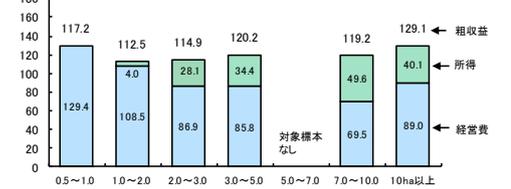
資料：農林水産省農業経営統計を基に農産園芸課試算

図3 水稲作業別労働時間(10a当たり)



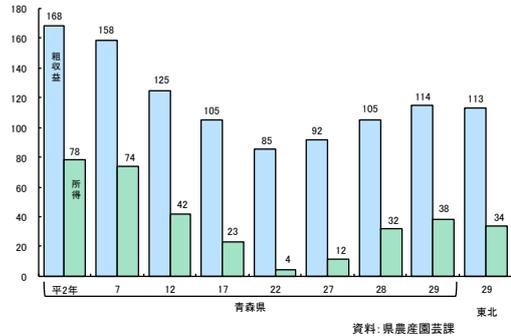
資料：農林水産省農業経営統計

図4 作付規模別の収益性 (10a当たり、28年)



資料：農林水産省農業経営統計を基に農産園芸課試算

図5 10a当たり収益性の推移



資料：農産園芸課

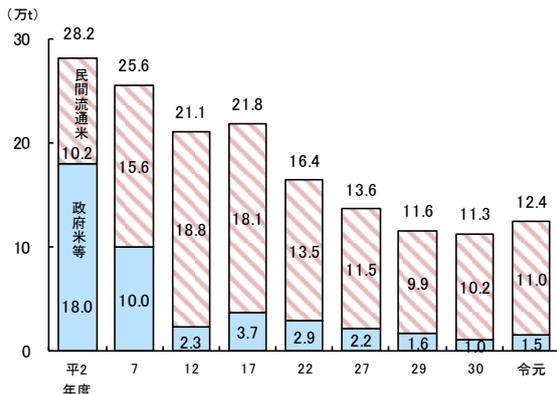
### (3) 米 (流通)

#### ～米価は上昇傾向～

県内の主要出荷取扱団体における令和元年産の県産米の出荷数量は12万4,325tで、主食用うるち米の品種別の内訳は「つがるロマン」が25.1%、「まっしぐら」が67.6%となっている(図2)。

相対取引における令和元年産米の取引価格は60kg当たり「つがるロマン」が15,059円、「まっしぐら」が14,789円で、前年産と比較して横ばい傾向にある(図3)。

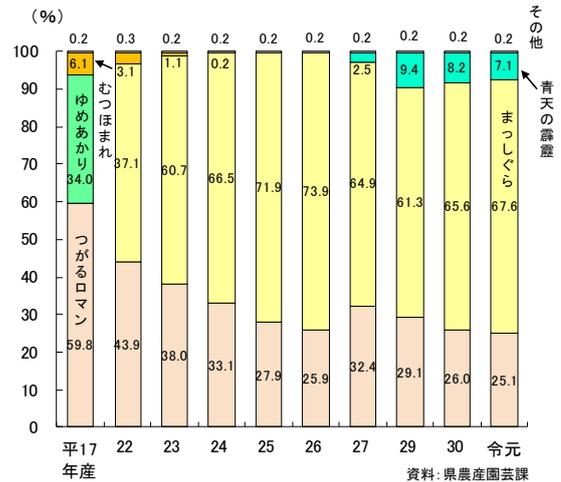
図1 県内の主要出荷取扱団体における  
県産米の出荷数量の推移  
(酒米、原材料うるち米、加工用米、もち米を含む)



注) 1 政府米等には米穀機構の買取分を含む  
2 ラウンドにより計と内訳が一致しない場合がある。

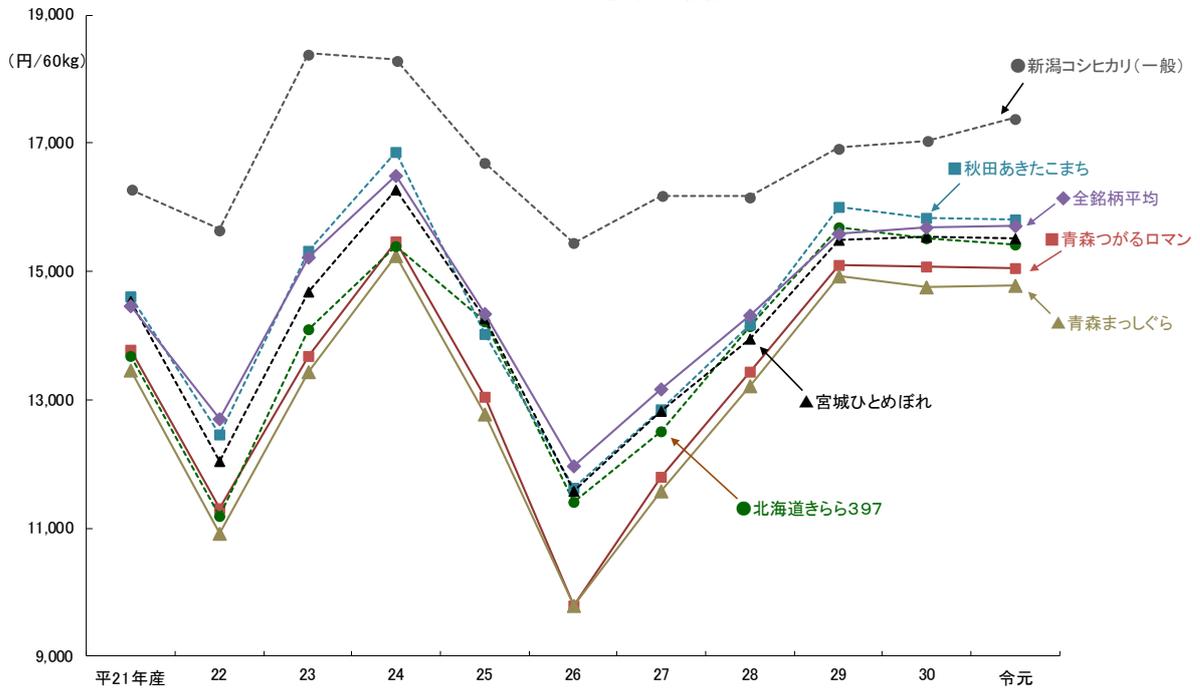
資料: 県農産園芸課

図2 県内の主要出荷取扱団体における  
玄米取扱量の品種別内訳  
(主食用うるち米)



資料: 県農産園芸課

図3 米の相対取引価格



注) 包装代、消費税等を含む価格

資料: 農林水産省「米の相対取引価格」